

# 一般質問

- 学校教育の安全対策について
- 市営住宅使用料の収納率について
- 地方交付税今後の推移について

今井 五郎 議員



進入規制の通学路

**質問** 文部科学省通達の通学路見直しの結果、ガードレールや横断歩道・信号機設置必要箇所は何かあるか。

**学校教育部長** ガードレール設置必要箇所は1カ所、信号機は3カ所、横断歩道はありませんでした。  
**質問** 児童や生徒の登下校の交通安全を目的として開始した通学バ

スの利用児童・生徒数は。また現時点での問題点は何か。

**学校教育部長** 児童363人、生徒209人が利用しています。利便性を考え、停留所の設置を毎年見直していく必要があります。

**質問** 児童・生徒の交通安全において、学校はどのような団体とどのような活動をしているか。

**学校教育部長** 交通安全会や警察との交通安全教室、PTAや自治会とのパトロール、自転車組合との自転車点検等を行っています。

**質問** 洪川市の市営住宅使用料の収納率は73%とのこと。収納率アップの方法として、管理会社に委託する考えはあるか。

**建設部副部長** 滞納家賃徴収員派遣業務を群馬県住宅供給公社に委託したため、新年度予算で議決をお願いしたいと考えています。

**質問** 特例措置終了後、洪川市の地方交付税は28億9200万円減額される見通しである。財政面から人件費や設備管理費削減対策として、総合支所のあり方を見直す考えはあるか。

**企画部長** 財政面のみを考慮するのでなく、行政サービスの低下を招かないよう、効率的な組織化を検討します。

- 合併特例債
- 企業誘致
- 水道料金

吉田 利治 議員

**質問** 地域振興基金造成。借金をしての貯金だが、今後の見直しは暗く財源確保に限度一杯の造成は。円を目指します。財政上、限度一杯の造成は厳しいと考えます。

**質問** 地域間格差是正の一環の橋りよう建設計画。現在1本半位の状況かと思うが、その他の4本の建設予定は。陳情、要望の経過は。

**企画部長** 広域、主要幹線道路は、国・県に要望しています。できる限り進捗状況を報告していきます。

**質問** 企業誘致、未来の洪川の財源、雇用に必要不可欠な事業。担当職員の設置は不可避と思うが、**商工観光部長** 専門知識があり、行動力のある職員を選抜き配置をします。

**質問** 過去進出の目的として土地を購入し諸事情で長時間放置されている土地は市内にどの位存在するのか。また北橋地区上箱田の所



新設される橋脚 (浅田～敷島間)

有者との折衝は行っているのか。

**農政部長** 農工法を活用した企業の用地は北橋地区の1カ所です。  
**商工観光部長** 今後の予定について、所有者に確認済みです。情勢を検討しながら建設する予定です。

**質問** 水道料金の統一。合併10年後の計画だが、格差が著しい料金制。しかも長期間に及び事業がある程度軌道に乗った現在、即統一を図るべきと思うがいかに。

**水道部長** 水道料金の統一に当たり、累積欠損金の解消が平成25年度中の見込みですが、水道施設整備計画に基づく財政計画を料金改定に反映させる必要があります。

# 一般質問



## ●「子ども子育て会議」の設置を ●市民の生命を守る 防災対策を急げ

伊花 明美 議員

**質問** 子ども子育て支援の新制度移行に伴い、地域ニーズ反映のため、子育て当事者を入れた「子ども子育て会議」設置の考えは。また、子育て支援者育成の考えは。

**保健福祉部長** 「子ども子育て会議」は詳細が分かっていない状況ですが、今後情報収集を行い、法の趣旨を踏まえ、設置については

前向きに検討していきます。子育て支援者育成については、今後検討していきたいと考えます。

**質問** 広告掲載で経費を削減し防災マップを作成。1日も早く全戸配布する考えはあるか。

**総務部長** 防災マップに掲載する事項については、見直しを前提に収集整理しています。

**市長** 防災マップを作成し、市民の方々に防災情報を提供したいと考えますが、その作成方法等については、検討します。

**質問** バリアフリーや介助員などを配置した福祉的配慮のなされた「福祉避難所」指定の考えは。

**市長** 福祉避難所については、福祉施設事業者等との協定を強化し、福祉避難所を確保したいと考えています。また、福祉避難所を指定

することについては、市が保有する施設の状態を検討し、指定できるようであれば、地域防災計画で指定したいと考えています。

**質問** 学校施設の非構造部材（天井や照明器具など）の耐震点検実施の予定は。

**学校教育部長** 学校が行う点検は、点検対策マニュアルにより2学期から行っています。専門家による点検は、新年度から実施します。

## ●敷島駅の西口通路の設置を ●ヒルクライムの開催を

狩野 保明 議員

**質問** 合併前の敷島駅前周辺活性化委員会で策定し、赤城村議会で承認を得た「敷島駅周辺整備計画」を市は引き継ぎ、もしくは、その内容を確認しているか。

**市民部長** 保存されていた書類により確認させていただきましたが、新市に引き継ぎがされたものではないと認識しています。

**質問** この整備計画で敷島駅西口通路を設置することになった。敷島温泉施設等の開設や合併橋

りょう「中郷く敷島橋りょう」も架設中であり、敷島駅西口通路は必要と思うが、市の考えは。

**市民部長** 通路や西側の駐車場・駐輪場を建設するには、多額の費用が必要になることは明らかです。利用者数や財政面などの状況を踏まえ検討していきます。

**質問** 西口通路設置のための調査の開始や第二次渋川市総合計画策定に挿入できないか。



敷島駅西側地区

**市民部長** 費用対効果や地理的条件など、さまざまな課題があると思われまます。現時点での調査費の計上は時期尚早と考えます。

**質問** 自転車競技「ヒルクライム」の開催が県内で相次いでいる。市が働きかけ（仮称）榛名山・伊香保ヒルクライムを実施する大会実行委員会を立ち上げる考えは。

**生涯学習部長** 実施する場合には、実行委員会手法による効果が効果的であると考えています。

**質問** 来年5月に榛名山ヒルクライムin高崎との隔年交互開催は。生涯学習部長 高崎市では毎年開催予定であるため、隔年交互開催は難しい状況です。

※ヒルクライム 山などの上り坂に設定されたコースを走るタイムレース。